

1. 出願書類作成の留意点

(1) 「志望理由書」および「学修計画書」の評価ポイント3点

- ①説明力
- ②情報収集力、および、情報整理能力
- ③学ぶモチベーションの高さ

(2) 「志望理由書」について

学部や志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴について、入学案内やホームページで情報収集を行い、それを自身が希望する学習内容と結びつける形で、なぜこの学部・専攻に入りたいのかを明確に述べてください。

<参考> 「受験生用ウェブサイト Reitaku Journal」(ホームページ TOP よりアクセス) に掲載されている記事を読む事で、学びについて一層イメージが膨らむので是非チェックしてください。

(3) 「学修計画書」について

自身の関心事についての客観的情報を調査・収集し、それを入学案内や大学ホームページで調べた志望専攻のカリキュラムと結び付けて4年間の学修計画を立ててください。また、その4年間の学びが、卒業後のキャリア(進路)にどうつながるのかを必ず述べてください。

2. 出願書類作成について ※募集要項と併せてご確認ください。ホームページよりダウンロード頂けます。

(1) 志望理由書について

テーマ: 「1. 国際学部および志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴をまとめて記載してください。」

<p>1. 国際学部および志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴をまとめて記載してください。</p> <p>私は、①「多様な価値と共生」を掲げ、〜〜など多様な学びを結び付け、新たな発見や発想を身につける学びに興味があります。新たな価値という宝物を見つける①“知の冒険”にチャレンジしたく、国際学部を志望いたします。3専攻の中でも、国際交流・国際協力専攻を志望するのは、世界の②環境問題に向き合い、〜〜の点に強く惹かれているからです。</p> <p>また、①Gateway Projectの「国際協力プログラム」に関心があり、アクティブラーニングを通じて、〜〜の力を身につけたいと考えております。教室の中だけではなく②現地に足を運び、自分たちに何ができるのか、チャレンジしたいと考えます。</p>
--

2021年度 麗澤大学 総合型選抜マニフェスト型		学部	専攻
志望理由書		学 科	専攻科
		志望専攻	専攻
		フリガナ	
		氏 名	
<p>※ 志望理由書は記入してください。</p> <p>1. 国際学部および志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴をまとめて記載してください。</p> <p>2. 上記を踏まえ志望する専攻への志望理由を記載してください。</p>			

【ポイント】

①国際学部や志望専攻の特徴と思われる点を明確にする

国際学部の特徴を明確に捉え書く。

志望する専攻の特長を調べ書く。

②関心(学習内容)を盛り込む

学びたいことや体験したいことなどを盛り込み、学習意欲を示す。

テーマ「2. 上記を踏まえて志望する専攻への志望理由を記載してください。」

2. 上記を踏まえて志望する専攻への志望理由を記載してください。

私が国際交流・国際協力専攻^①を志望する理由は、3点あります。^②

1点目は、ディスカッションやプレゼンテーションを中心とした実践的な授業で考える力を身につけられることです。環境問題をテーマに〜積極的に情報発信を出来るようになります。

2点目は、この授業で身につけた知識や技術を実社会とつなぎ、身近な問題を対象に実践できることです。自主企画ゼミナールでは、自ら授業の内容を企画し、〜です。

3点目は、具体的な企業や国まではハッキリ決められませんが、海外で活躍したいという夢が、実現できる専攻だからです。そのために、多文化共生学を学び、多様な価値との共存の方法や考え方を身に付けたい。

そして、私は世界で活躍できる仕事に就きたい夢があります。環境関係、旅行関係に関心がありますので、大学の4年間を積極的に授業に取り組み、「考える力」「情報発信力」「実践力」を身につけます。

2023年度 慶應大学 新国際学部プログラム		学号 番号
学部	国際学部	志望専攻
志望専攻		専攻
フリガナ 氏名		

志望理由書

～黒鉛ペンを活用して記入してください～

1. 国際学部および志望する専攻の理念やカリキュラムの特徴をまとめて記載してください。

2. 上記を踏まえて志望する専攻への志望理由を記載してください。

国際学部 400

【ポイント】

①結論（志望理由）を最初に書く

志望専攻の特徴や教育内容を調べ興味がわいたところや、共感した内容を書く。

②在学中に成し遂げたい目標（学習目標）を示す

やってみたいことを、勇気をもって示し、締めくくる。

志望専攻で学ぶことで学習目標が達成できるということを分かりやすく説明する。

身につけたい能力や資格などイメージがあれば、できるだけ具体的に書く。

解説：「地域連携実習」「多文化共生プロジェクト」「自主企画ゼミナール」

(1) 「麗澤地域連携実習」

柏市や柏市内の企業などの学外の連携組織から提示された課題に対して指導担当の教員を設定し、それぞれの課題に対して受講者グループを形成し課題の発見および解決に取り組む。

(2) 「サービ斯拉ーニング体験実習」

ボランティア活動の内容や意味を実践的に学ぶ体験学習的科目。

学内の留学生援助活動、学外の施設や市民活動での体験実習、会社の社会貢献活動、市民活動、公共団体の活動、NPO・NGO活動、介護施設、障害者支援施設、各種イベントの実施および参加、異文化体験など、学修のフィールドは多岐にわたる。

(3) 「多文化共生プロジェクト」

特定のテーマについて関心のある学生有志が集まり、指導をうける教員を選び依頼。

学生自身が自主的、自発的に研究や調査を進めていく。問題の所在を確認し、その問題の発生原因、解決策等について自ら計画を立て、調査・研究を進めていく。扱うテーマは、国際協力、国際交流、多文化共生、日本語教育等、本学科の専門領域に関するものとする。

(4) 「自主企画ゼミナール」

カリキュラム上に開講されていない内容について、学生自身が共同学習者を募り、教員を選び、学習の進め方を決めて企画・運営する科目。

テーマには、国際問題、語学、教育、環境問題、PBL、地方創生など多様な領域が含まれる。

(5) 「グローバルリーダー海外研修」

海外での英語研修やビジネス事情に関する講義への参加を通じて英語運用能力を高め、企業訪問により現地ビジネス活動の一端に触れることで、グローバルビジネスに関する見識を高める。

以上